

マイナンバー（個人番号）カードでの コンビニ交付サービスがスタート！！

問 市民課 ☎82・2143 / IP ☎88・9076

いよいよ



▲初日にはローソン榛原萩原店でセレモニーを開催

2月1日から、市内10店舗をはじめ、全国のコンビニエンスストアなどで、住民票の写しや印鑑登録証明書などを取得できるサービスを開始しました。

このサービスは、県内で13番目に利用するにはマイナンバーカードの取得が必要ですが、市役所に行かなくても、住民票の写しなど利用頻度の高い証明書を取得することができます。

市長はいいさつで、「住民票の写しの取得などは、住民の方にとって身近で利用頻度の高い行政手続きの一つ。このサービスにより少しでも住民生活の利便性向上につながれば。マイナンバーカードについても、今後ますます利用の幅が広がってくる制度。みなさんにもぜひ取得いただきたい」と述べました。

◆取得できる証明書

- 住民票の写し
- 印鑑登録証明書
- 住民票記載事項証明書
- 戸籍謄本・抄本
- 戸籍の附票の写し
- 所得証明書
- 住民税課税証明書
- 住民税非課税証明書

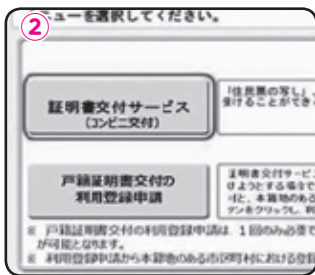


コンビニ交付 どうやって使うの？

コンビニ交付サービス開始に伴い、毎月第2・第4土曜日の市民課窓口は、4月より終了させていただきます。



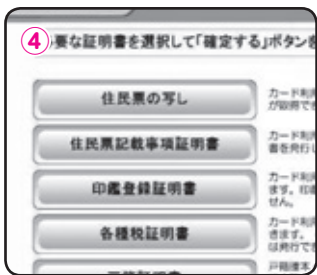
1 マルチコピー機を発見！行政サービスボタンから



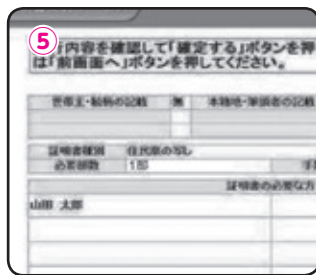
2 メニューを選択



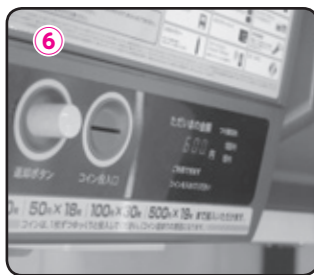
3 マイナンバーカードを置いて



4 必要な証明書を選択し



5 発行する内容を確認！



6 料金を支払い、印刷を待つ
領収書も出てきます！



3分程度で発行されました (^^)

宇陀市長選挙及び宇陀市議会議員選挙

18歳・19歳の有権者が、初めて投票する市の選挙

これからの宇陀市の未来をつくる選挙

市長・市議会議員選挙は、まちの代表者を選び、未来の市政を託す大切な選挙

候補者の情報を知ろう

今回の選挙から選挙公報（候補者の氏名や政見などが掲載されたもの）を発行します。市内全世帯に戸別配布します。また市役所や各地域事務所にも備えつけるほか、市ホームページにも掲載します。

【告示日】 4月15日(日)
【投票日】 4月22日(日)



あなたの大切な1票で
まちの未来が変わる
有権者みんなで
投票しましょう！

問 市選挙管理委員会【総務課内】
☎82・1302 / IP ☎88・9068

市内の空き家解消を目指します

空き家セミナーと相談会開催

問 まちづくり支援課 (☎82・3910 / IP ☎88・9094)



まちが元気になってほしいなあ

空き家でお困りの方向けの相談会を開催します。

市内でも空き家が増加していますが、適正な管理には早めの対策が必要です。空き家の管理や活用でお困りの方は、ぜひ、ご参加ください。

【日時】 3月24日(土)

○セミナー(予約不要)
午後1時～2時

○相談会(要予約)
午後2時15分～4時15分

【場所】 市役所会議室

【主催】 宇陀市・NPO法人空き家コンシェルジュ

※相談会には予約が必要です。前日までにご連絡ください。

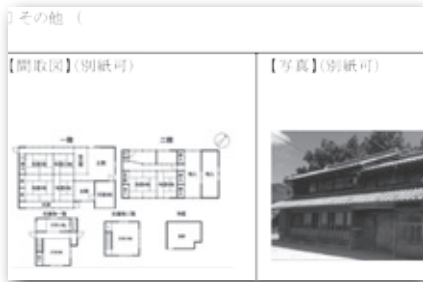
※相談会の日以外は常設の相談員が相談を受けています。お気軽にご連絡ください。

【連絡先・受付時間】

NPO法人 空き家コンシェルジュ
橿原市小房町9-32
(☎) / FAX: 0744・35・6211

空き家情報バンクを「活用」ください

市では、ホームページ内に「空き家情報バンク」サイトを開設するほか、移住定住情報をまとめたパンフ「宇陀で暮らしてみませんか」を掲載しています。空き家を売りたい人・借りたい人は、ぜひお役立てください。



▲空き家情報バンクには写真のほか、間取りや詳しい情報も掲載。

宇陀市 空き家情報バンク

市民参加の未来づくり

総合計画策定

第2回

宇陀市みらい会議開催!

問 企画課 (☎82・1362 / IP ☎88・9074)

1月17日、宇陀市総合計画策定に向けて2回目となる宇陀市みらい会議を開催し、約30名の方々の参加をいただきました。

昨年開催した前回のみらい会議では、宇陀市の未来に関わる数多くのテーマが浮かび上がってきました。そこで、テーマごとに意見をより深くお聞き

するため、6つのテーマ①観光・情報発信、②教育・子育て、③雇用・農林業、④健康、⑤まちづくり・交通、⑥自然・景観に

絞って、関心のあるテーマに分かれて市民のみなさんにお集まりいただき、話し合いました。みなさんからいただいた貴重なご意見やアイデアを元に検討を重ね、来年度の完成に向けて、宇陀市総合計画策定に取り組んでいきます。

※宇陀市総合計画とは、市の最上位に位置づけられる計画のことで総合的かつ計画的な市政運営の指針、市民にまちづくりの長期的な展望を示すものです。



▲みらい会議での意見発表の様子

明日の宇陀市づくりに向けて参加者のみなさんからの提案

■観光・情報発信

- ・観光客の楽しみ 道の駅をもっとおしゃれに
- ・宇陀の資源を活かした観光
自然、景観、水を情報発信
- ・宇陀市内のウォーキング企画
- ・歴史ある建造物やかやぶき民家を巡る旅
- ・廃校の利用
- ・高原植物が育つヨーロッパ並みの気候をアピールなど

■教育・子育て

- ・教育のレベルアップ
- ・親の子育て力向上 など

■雇用・農林業

- ・雇用の創出 ・体験農業
- ・宇陀市株式会社 客は市外、利益は市内
- ・農産物の集積システムと販売先
- ・ブランド化の為に SNS、イベント、有名シェフなど

■健康

- ・高齢になっても元気で仕事や遊びに楽しむ健康人の街
- ・普段から健康、体について学ぶ など

■まちづくり・交通

- ・交通の不便を感じない街
- ・高齢者が生活しやすい地域づくり
- ・行くなら今! 団塊世代の活用 など

■自然・景観

- ・きれいな街 ・郷土愛を育む
- ・人間を育む街 その中に景観がある
- ・景観→教養→知性→品性になり存在意義につながる

宇陀市の伝統産業「毛皮革産業」を振興

伝統産業技術者育成研修

研修生を募集!

問 商工観光課 (☎ 82・2457 / IP ☎ 88・9008-1)

市では、伝統産業である毛皮革産業を担う人材を育成するため、その技術を継承する意欲のある方に各事業者による実習を伴う研修を実施します。

多数の方々のご応募をお待ちしています。

【研修コース】 鹿皮なめし・毛皮なめし・毛皮縫製・毛皮商品企画など

【研修期間】 4月1日(日)～

平成31年3月31日(日)

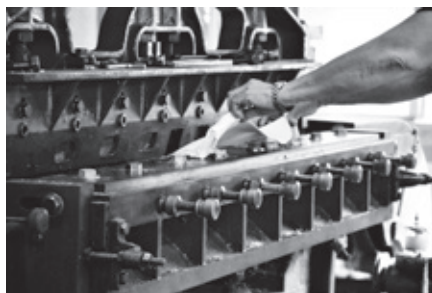
平日午前9時～午後5時

(応相談)

【内容】 毛皮革産業の将来を担う人材を育成するため、毛皮革に関するそれぞれの基礎知識と専門的技術について実習を中心とした教育指導をする。

【定員】 若干名 **【費用】** 無料

【申し込み】 随時募集



▲鹿皮の割り(厚みの調整)



▲毛皮の縫製

宇陀市の毛皮革産業とは・・・
 ・歴史ある高品質製造直売
 ・コートからバッグ、小物まで
 ・メイドインジャパンに恥じない職人技
 ・日本の伝統を支える技法

平成の薬草のまちを目指して

大和当帰栽培を推進中

現在、市では薬草協会が中心となって大和当帰の栽培を推進しています。

今年度は、7月～10月に大和当帰の葉の買取りを行いました。当帰の葉は、薬草料理やお茶、入浴剤などの原材料として利用され、健康食品として注目されています。また、12月～1月には、市内各地で収穫された大和当帰の根を集積し、大きさに応じて買取りしました。買取りした根は当協会で乾燥・湯もみ・調整し、生薬問屋に販売する予定です。

■大和当帰苗の予約を受付します

今年も苗の配布を予定しています。栽培方法などは、資料とともに説明します。

【対象】 市内で栽培される方
(数量限定の場合あり)

【配布価格】 1本10円



問 宇陀市薬草協会(産業企画課内)
(☎ 82・5874 / IP ☎ 88・9075)

みんなが笑顔になるために

障がいのある人について知ろう!

問 介護福祉課 (☎ 82・3675 / IP ☎ 88・9008)

はじめに

「まず、知ることから
はじめましょう」

私たちが暮らす社会には、性別や年齢、障がいの有無などさまざまな人がいます。では、障がいにはどんなものがあるのか知っていますか。

まずは、障がいを「知ること」からはじめましょう。知ることができれば、どうすれば「助け合うこと」ができるかを考えることができるようになります。

みんなで知って、一緒に考え、みんなで笑顔で暮らせる社会をつくりましょう。

「障がい」って?

「障がい」とは、何らかの原因で身体や心のどこかがうまく働かないために、日常生活や社会生活で、まわりからの理解や協力が必要な状態です。

生まれたときから障がいのある人もいれば、病気や事故などによって障がいをうける人もいます。障がいは、だれにとっても身近なことです。

まずは、どんな障がいがあるかを知りましょう。そして、どんな手助けができるのか考えていきましょう。

※これから「広報うだ」では定期的に障がいに関わる内容をシリーズで掲載します。



市では、「あいサポート運動」に参加し、全庁をあげて「障がいを知り、ともに生きる」ことを目指しています。



「広報うだ」には、記事の大半に、文字そのものが「わかりやすく」「読みまちがえることがない」ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

宇陀市の産業振興を目指して

地場産業と観光振興のためご意見を募集!

問 商工観光課 (☎82・2457 / IP ☎88・9081)

毛皮革産業新商品開発事業 商品モニター募集

原皮のなめし加工、縫製、販売までの一貫したシステムを持つ全国唯一の毛皮革産地である菟田野。市を代表する地場産業として、市や奈良県にも認定されています。

市菟田野産業振興協議会(事務局・商工観光課)では、この度、毛皮革産業振興のため市民のみなさんから広く意見を聞くため、毛皮革商品のモニターリングを行います。

毛皮革産業のさらなる発展と新規商品の開発のヒントとなるような、みなさんのアイデアやご意見をお寄せください。

【概要】 商品モニターに採用された方に、菟田野毛皮革事業者や関連事業者とのワークショップやアンケートに答えさせていただきます。

※実際に毛皮革商品を手にとっていただき率直な意見をいただきます。

【実施日】 3月19日(月)

【場所】 菟田野産業振興センター(菟田野古市場)

【報酬】 特にありません。若干の毛皮革商品の贈呈あり

【募集定員】 10名

【募集要件】 毛皮革商品に興味があり、またファッションやデザインに興味のある方

【審査】 モニター採用にあたっては、応募締切後、協議会において選考のうえ通知します。

【申し込み】 3月16日(金)までに問へ



市観光協会新規人材発掘事業 人材募集

市観光協会はこの度、宇陀市における観光振興を目的に、新しく宇陀市観光に対する意見をいただける方、また4つの観光協会支部でのイベントにおいて協会員と一緒に活動いただける方を募集します。

【概要】 2部門の人材を募集

① アドバイザー部門

様々な経験を持った方で、観光協会の活性化や宇陀市の観光について4地域全体のアドバイスを行っていただける方。

② ボランティア部門

宇陀市観光協会4地区のイベントに横断的に参加していただける方。

【面接日】 3月下旬(応募者に個別に連絡)

【場所】 宇陀市役所

【報酬】 特にありません。採用後は観光協会員として会費の納入(個人1000円)をお願いします。

【募集定員】 若干名

【募集要件】 観光について興味があり、宇陀市の観光について協会員と一緒に盛り上げていただける市内在住または市内在勤の方

【審査】 いずれも観光協会の代表、事務局による面接および書類の審査を行い、審査通過後、協会員として加入いただきます。

【活動期間】 原則一年間。その後協会との協議の中で更新を行います。

【申し込み】 3月16日(金)までに問へ



広報うだ配布場所

★市役所・地域事務所で配布しています(土・日曜日、祝日も可)★

◎道の駅宇陀路大宇陀

◎市文化会館

(火曜日、祝日)

◎菟田野人権交流センター

(日曜日、祝日)

◎菟田野分館(月曜日、祝日)

◎ひのき坂公民館

◎大和富士ホール(月曜日)

◎市立中央図書館(ひら内)(火曜日・祝日)

◎伊那佐体育館

◎たかぎふるさと館

(月曜日、第1・3火曜日、祝日)

◎自主放送スタジオ(土・日曜日、祝日)

◎天満台東交流センター

◎榛見が丘集会所[ひまわり会館]

◎市観光案内所「うだ観処」(年末年始)

◎室生福祉保健交流センター(土・日祝日)

◎榛原ゲートボール場

◎市役所[1階ふるさとテラス]

◎各地域事務所

※()内は休館日です。

2年連続!

広報うだ奈良県代表作品として

全国広報コンクールへ!!

問 秘書広報情報課 (☎82・3912 / IP ☎88・9083)

広報うだ12月号「特集…できる限りわが家で暮らしたい」が平成30年全国広報コンクール県代表作品として選ばれました!

県広報協会による作品審査では、「誰にとっても身近で関心の高い介護問題を、「在宅」という視点で切り取った特集は充実した内容。記事量は多いものの、カラーを生かした写真のあしらいや、小見出しを上手く使ってメリハリの効いたレイアウトにしたことで、「読んでみよう」と思わせる誌面になった。笑顔の多い写真も目を引く。

「うだちから」「記紀万葉と宇陀市」「薬草逍遙」といったコーナーも全体の中でバランスよく配され、読者の手に取らせる効果を生んでいる」と高い評価をいただきました。

また、映像の部では今年放送した宇陀市ホットニュース特別番組「全国学校給食甲子園」決勝大会を出版。

残念ながら入選とはなりません



▲広報うだ12月号



また、9月号「特集・カラダヨロコブ」は全国広報専門誌で紹介されました

んでしたが、

「給食メニューにする上での学校や地域のみなさんの思いや工夫、そして子どもたちがどんなふうにもこの給食を味わい、そこで何を感じ、地域をどう見るようになったかなどが描ければ宇陀市のすばらしさが市内だけでなく外の人たちにも伝わると思う」とアドバイスをいただきました。

これからも、みなさんに楽しんでいただける紙面・番組づくりを進めていきますので応援よろしく願います。



▲特別番組「全国学校給食甲子園」H 30.1月放送

YouTube 宇陀市ホットニュース

市長日記

春は、もうそこまで



多くのカメラマンの方がSNSで宇陀市の美しい雪景色を発信してくれました

▼2月は、日本列島が寒波に見舞われ、宇陀市でも、寒い日が続ききました。寒い寒いと感じ、考えていると何事もおつくうになりがちです。皆さんあまり屋外に出ず、室内で暖かく過ごされているのではと思います。

私自身の健康観は、少し体温を上げる工夫をしています。毎日、庁舎まで徒歩で通勤することにより、体が温まり、朝一番の会議や決裁に積極的に臨めている気がします。

▼市長としての任期満了を間近に控え、会議や地域での懇談などの場で「少し不安がある」との声を耳にします。

しかし、様々な政策に積極的に取り組んでいます。それぞれが、宇陀市にとってかけがえのない重要なものばかりです。これからも宇陀市のまちづくりのために、市民皆さんに政治に参加していただき、市の今を思い、将来を考え、今何をなすべきかを自ら発言し、行動してほしいと願っています。

▼宇陀市の財政が悪いとの意見をいただきます。その時の説明で、確かに合併当初は、非常に悪く、破綻した夕張市に次ぐくらい、経常収支比率が高い数値を示していましたが、人件費削減

減をはじめ、不断の努力により、県の中位ぐらいまで健全になってきています。ですがまだ、決して良いとは言えません。平成32年頃になると、負債の返還など完了する計画ですので、その頃には県平均より健全になっていると思います。

▼市の行政課題は、少子高齢、人口減少であり、地域経済の再生です。その課題を解消するのは産業振興であり、雇用の創出であると考えています。

これらの政策を実行することが、社会福祉を支える仕組みになると考えています。宇陀市のまちづくりは、ウエルネスシティ構想、まちづくり協議会など、新たな展開を図り、今以上に発展してほしい、充実してほしいと願っています。

▼3月は、議会も始まります。予算は、骨格予算となりますが、継続事業は、執行できる状況を、議員の皆さんと議論し、創っていきたくと考えています。

寒い日が続きますが、心と体を鍛えて、ウエルネスシティ宇陀市を自ら実践してください。春は、もうすぐそこまできます。

みなさんのまちづくりを応援!

宇陀市まちづくり活動応援補助金事業を募集!!

問 まちづくり支援課 (☎ 82・3910 / IP ☎ 88・9094)

市民活動の活性化を目的に、まちづくり活動に必要な経費を補助します。

地域の個性を活かしたまちづくりの提案を待っています。

【応募期間】

3月1日(木)～26日(月)

【対象】

次の要件に該当する団体
○市内で主に活動し、3名以上で構成されていること(うち半数以上が市内に在住、在勤または在学)

- 定款、規約、会則等に基づいて活動が行われていること
- 政治活動、宗教活動、営利を目的としない団体であること
- 【対象事業】 市内において実施する新規または既存事業拡充となる事業など
- 産業・ものづくりの振興
- 観光振興
- 健康・福祉の推進、児童生徒の健全育成推進
- 芸術・文化・スポーツ等の生涯学習の振興
- 景観美化、環境保全、地域の安全推進
- その他、地域の活性化につながる事業

【事業期間】

原則単年度の事業とします。

※複数年事業については、3年限度で対象になる場合があります。

【補助金の交付額】

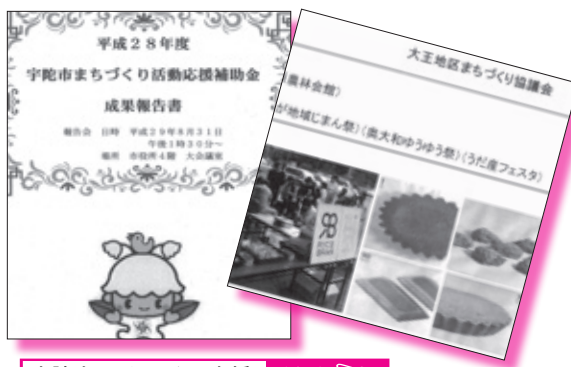
補助対象経費から事業によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円が上限。

※複数年事業については、2年目は40万円、3年目は30万円が上限。

【募集要領など】

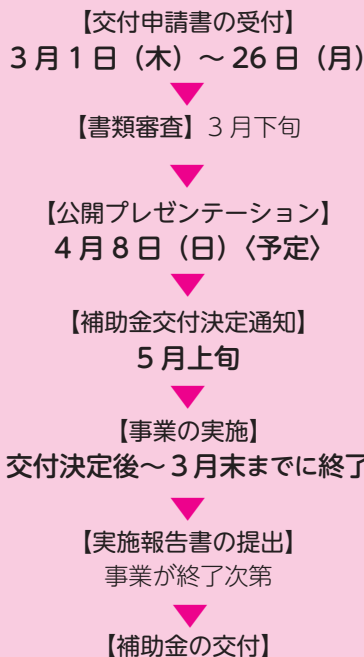
詳しくはまちづくり支援課 各地域事務所、ホームページで
【審査の基準】 ○新規性 ○公益性 ○必要性 ○実現性 ○発展性
【事業の公表】 事業団体名・代表者・事業内容は、広報やホームページなどで公表

※本事業は、平成30年度予算成立後、速やかに事業が開始できるよう事前に募集手続きを行うものです。そのため、予算成立に伴い、内容変更があり得ることをご了承ください。



宇陀市 まちづくり応援 検索

◇補助金交付までの流れ◇



Kirari UDA-Bito

善塗多望

「本物を目指していきたい」

左官業

宮奥淳司 さん

(大宇陀黒木)



親子2代で左官業を営んでいます。生まれ育った大宇陀町には古いまちなみが残り、国の重伝建地区に選定された「宇陀松山」で仕事のご縁をいただけてきました。現場からの学びは多く日本伝統建築「職人技術の最盛期」といわれる江戸末～明治期の職方の残した手業、建物の修復に携われる機会に恵まれたことは職人人生の大きな糧となっています。

昔

「は「大工・瓦屋・左官屋がいたら家が建つ」といわれましたが、今は「建てる」というより「家を買う」といわれるようになりました。我々左官業も次第に絶滅危惧種のように感じる時もありますね。

そんな中、家業PRのためホームページを作成したのですが、それが功を奏してテレビ局から海外でかまど作りの技術指導のオフアアがあったり、全国各地からかまど作りの依頼をいただくようになりました。

特

に海外での経験は本当に印象深く、アウトサイドな視点から日本文化・生業の左官というものを再認識する機会になりましたし、職人としての幅も広がりました。最近では、法隆寺などの重要文化財の修復作業にも関わられるようになり、職人としての自分の方向性も定まってきました。

今

は、時代の流れで価値観も変わり、昔のように生家の古民家を補修し長く住むということが困難になっていくのかもしれませんが、活躍できる場が限られてきましたが、先人の手業から感銘を受けたように、職人として「本物」の手仕事を追及していくことが自身の進むべき道だと思っています。

私

も「モノづくり」に携わる職人として、日本人が古来から持つ価値観や「モノ」に対して向き合う心を大事にしていきたいし、仕事を通じて、そんな想いを伝えていきたいと思っています。



法隆寺土塀の修復作業



特集

市政トップニュース

うだぢから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウエルネス

お知らせ

掲示板

うだちゃん